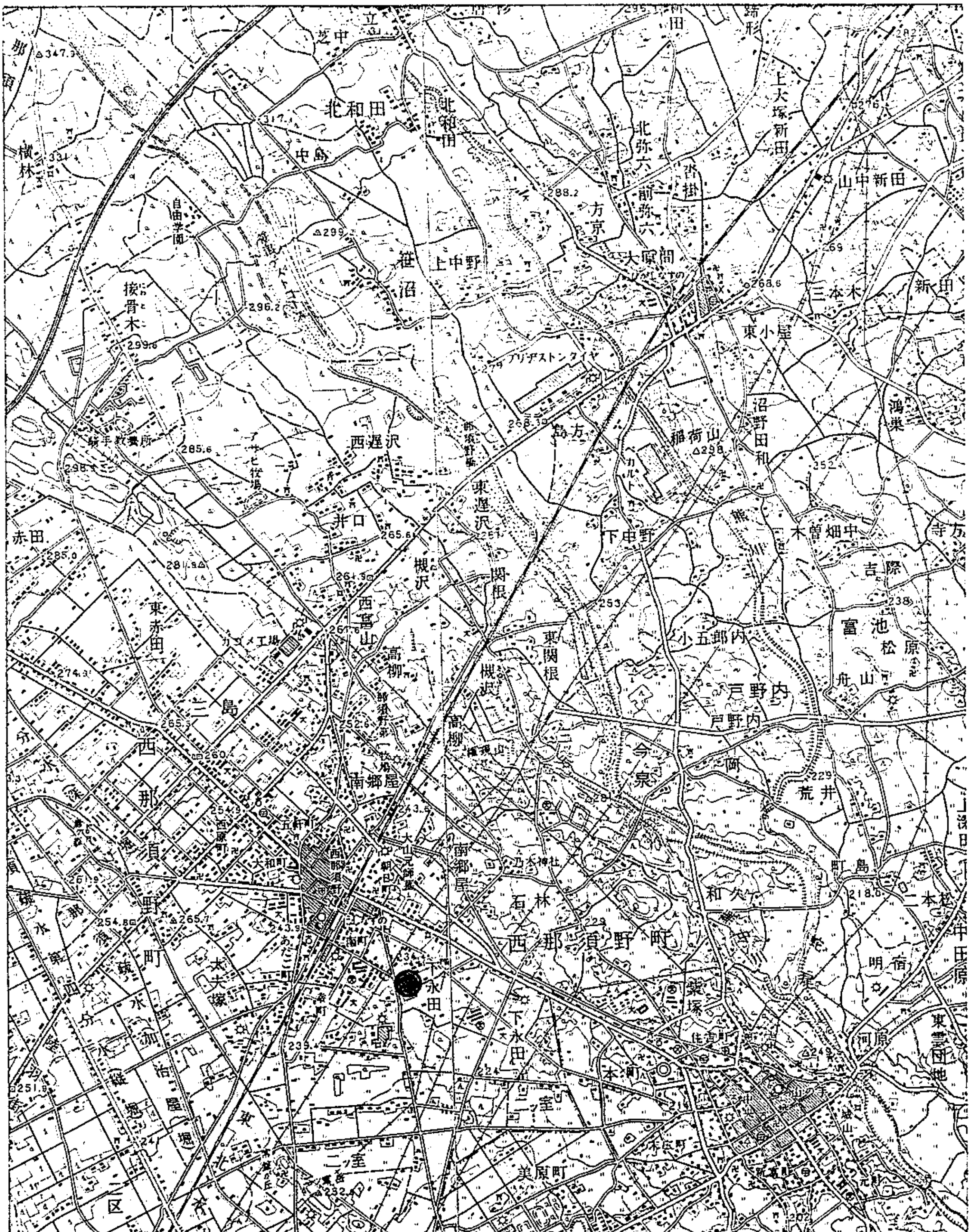
ご　注　意

地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第９３条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご活用ください。

栃木県土木部建築課


北和田
中島
笹沼
上中野
大原間
方京
山中新田
三本木
新田
東小屋
西遅沢
東遅沢
井口
稲荷山
下中野
木曽畑中
吉際
富池
小五郎内
戸野内
南郷屋
西那須野町
石林
西那須野
太夫塚
下永田
本町
二つ室
美原町
若松町
浅香町
加治屋
富士見町
東取団地
赤田
東赤田
三島
二区
一区
駅前
荒井
町島
二本松
明宿
河原
東三団地
若草
宇田
萩野目
乃木神社
カゴメ工場
ブリヂストンタイヤ

○調査地

柱状－ＢＡＳＥ

第　　図　土質柱状図

調査名	那須農業高校生物工学科実験棟新築工事地質調査
ボーリング方法	ロータリー　式
調査位置	栃木県那須郡西那須町下永田３－４－３４６
地点番号	No.　A
標高	KBM+0.13 m
調査年月日	６２年１２月　８日～　月　日
孔内水位	GL-3.90 m
担当者名	

備考

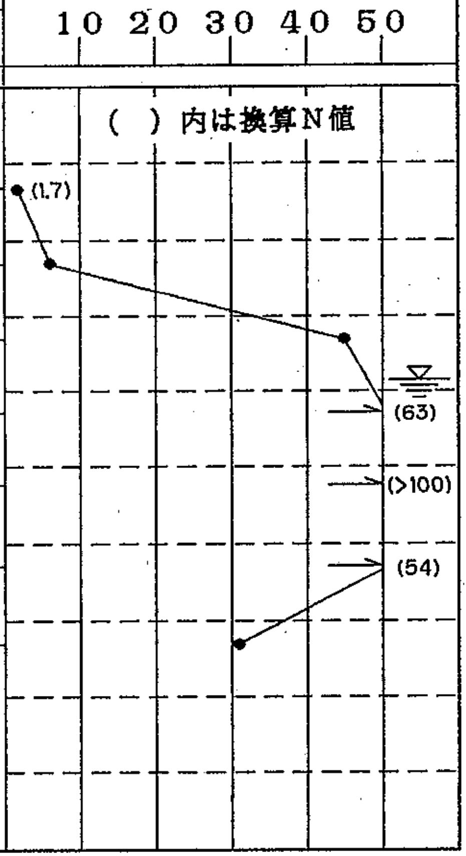
○……標本番号

標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	試料採取	土質名	色調	記事
0.13	0.00						
-1.77	1.90	1.90			埋土（ローム）	暗褐灰	ローム主体。礫、砂、ガラ多量混入。
-1.87	2.00	0.10			ローム	暗褐灰	植物根混入。
-2.47	2.60	0.60			凝灰質粘土	褐灰	ローム質で、下部礫混じる。
-6.57	6.70	4.10			砂礫	褐灰	2.60～4.70m間80%逸水する。所々砂を薄く挟む。凝灰岩混じる。平均φ2～40mm、最大φ70mm程度である。亜角礫多い。
-7.32	7.45	0.75			粘土混じり砂礫	褐灰	粘土混じる。φ2～40mm程度の礫主体。

標準貫入試験

標本	深度 (m)	N値(回) / 貫入量(cm)	10cm毎の打撃回数 10cm	20cm	30cm
①	1.15	2	1	1	
	1.50	35	20	15	
②	2.15	6	3	2	1
	2.45	30	10	10	10
③	3.15	45	11	14	20
	3.45	30	10	10	10
④	4.15	50	23	17	10
	4.39	24	10	10	4
⑤	5.15	50	35	15	
	5.29	14	10	4	
	6.15	50	12	15	23
	6.43	28	10	10	8
⑥	7.15	31	9	10	12
	7.45	30	10	10	10

（N　値）



柱状－ＢＡＳＥ

第　　図　土質柱状図

調査名	那須農業高校生物工学科実験棟新築工事地質調査
ボーリング方法	ロータリー式
調査位置	栃木県那須郡西那須町下永田３－４－３４６
地点番号	No. B
標高	KBM+0.20 m
調査年月日	６２年１２月　５日～１２月　７日
孔内水位	GL-4.20 m
担当者名	

備考

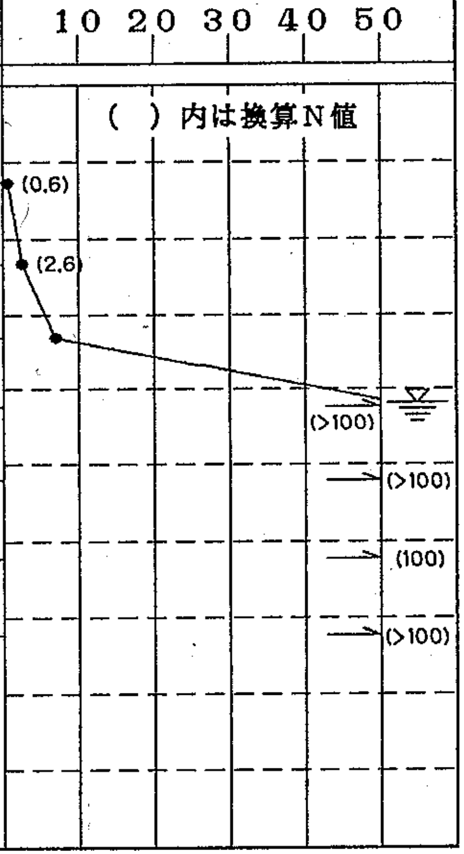
○……標本番号

標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	試料採取	土質名	色調	記事
0.20	0.00						
-2.90	3.10	3.10			埋土（ローム）	暗灰～褐灰	0.00～0.90mローム主体。0.90～1.85mガラ主体。1.85m以深ローム主体。
-3.30	3.50	0.40			粘土混じり細砂	褐灰	φ2～30mm程度の礫主体。
-7.07	7.27	3.77			砂礫	褐灰	上部80%逸水する。亜角礫多い。凝灰岩混じる。5.70m以深所々で全逸水する。平均φ2～40mm、最大φ70～80mm程度である。

標準貫入試験

標本番号	深度 (m)	N値 (回) / 貫入量 (cm)	10cm毎の打撃回数 10cm	20cm	30cm
	1.00	1	0	1	
①	1.50	50	20	30	
	2.15	3	1	1	1
②	2.50	35	15	10	10
	3.15	7	2	2	3
③	3.45	30	10	10	10
	4.15	50	28	22	
④	4.29	14	10	4	
	5.15	50	40	10	
	5.26	11	10	1	
	6.15	50	28	22	
⑤	6.30	15	10	5	
	7.15	50	39	11	
⑥	7.27	12	10	2	

（N　値）



標尺 (m): 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

柱状－ＢＡＳＥ

第　　図　土質柱状図

調査名	那須農業高校生物工学科実験棟新築工事地質調査
ボーリング方法	ロータリー　式
調査位置	栃木県那須郡西那須町下永田３－４－３４６
地点番号	No．Ｃ
標高	KBM-0.02 m
調査年月日	６２年１２月　９日～　月　日
孔内水位	GL-2.30 m
担当者名	

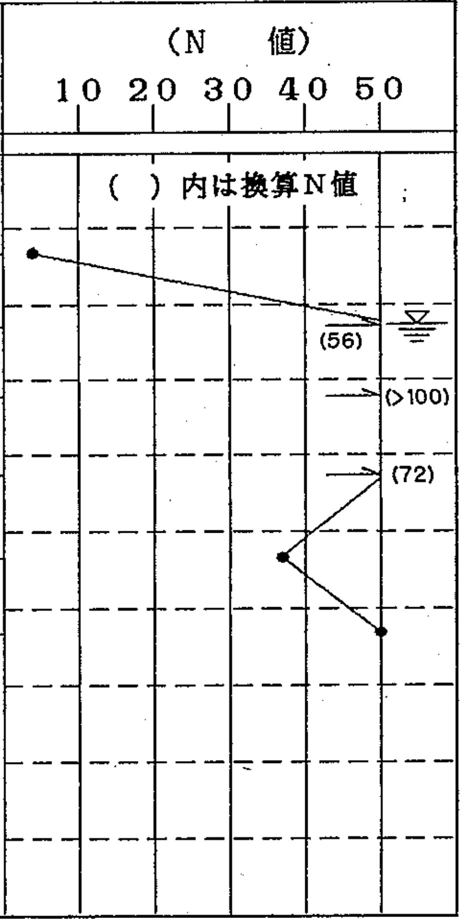
備考

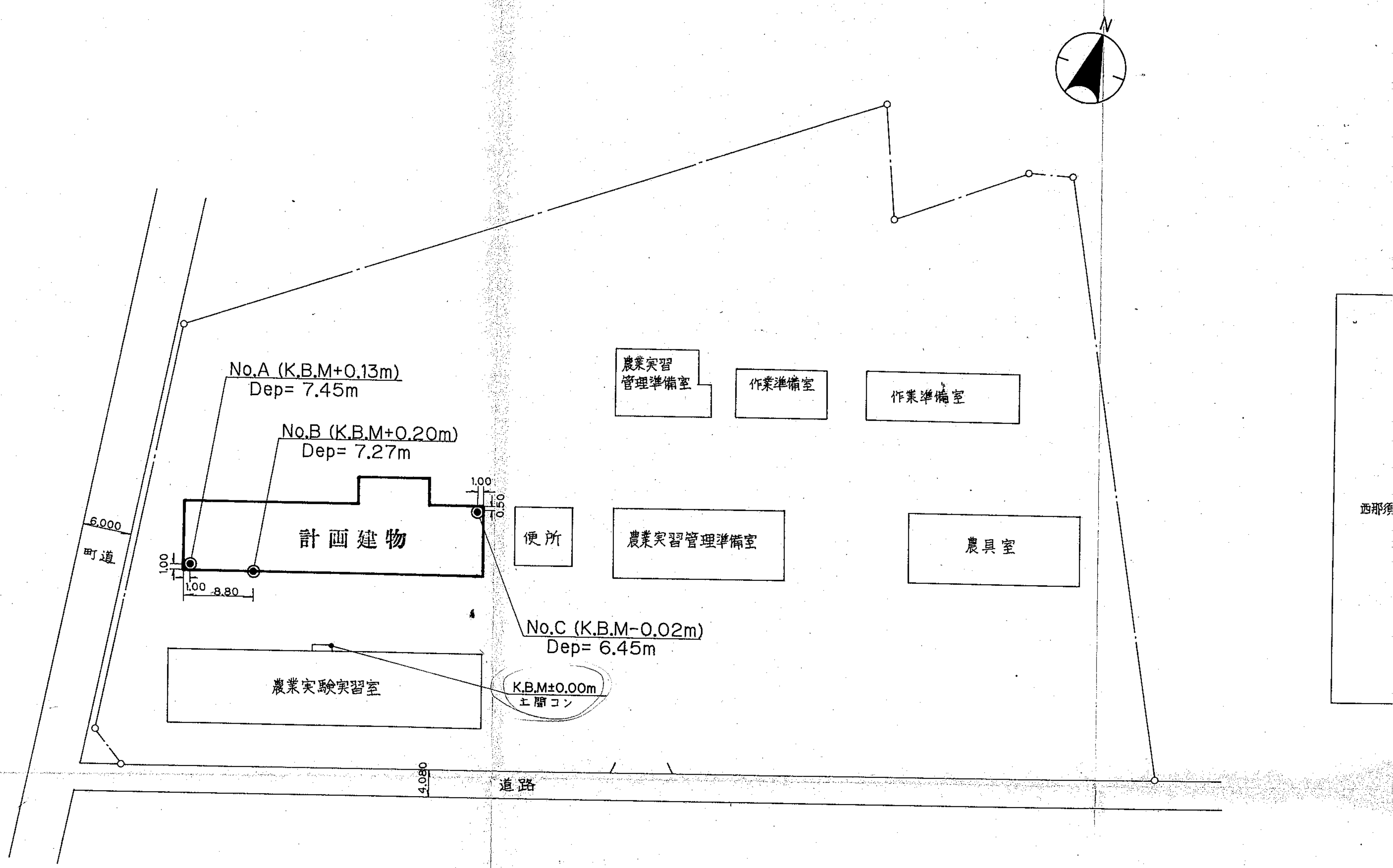
○……標本番号

標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	土質記号	試料採取	土質名	色調	記事
-0.02	0.00						
-0.72	0.70	0.70			埋土（ローム）	暗褐灰	ローム主体。
-1.52	1.50	0.80			ローム	褐灰	浮石、スコリア極めて少量混入。下部砂質となる。
-6.47	6.45	4.95			砂礫	褐灰	全体に微量の粘土分混じる。所々不規則に80～100%逸水する。5.00m付近粘土分多い。亜角礫多い。凝灰岩混じる。平均φ2～40mm、最大φ70～80mm程度である。

標準貫入試験

標本番号	深度 (m)	N値(回)／貫入量(cm)	10cm毎の打撃回数 10cm	20cm	30cm
①	1.15	4	1	1	2
	1.45	30	10	10	10
②	2.15	50	23	17	10
	2.42	27	10	10	7
③	3.15	50	50		
	3.25	10	10		
④	4.15	50	18	27	5
	4.36	21	10	10	1
⑤	5.15	37	11	12	14
	5.45	30	10	10	10
⑥	6.15	50	12	15	23
	6.45	30	10	10	10




N
No.A (K.B.M+0.13m)
Dep= 7.45m
No.B (K.B.M+0.20m)
Dep= 7.27m
No.C (K.B.M-0.02m)
Dep= 6.45m
K.B.M±0.00m
土間コン
計画建物
便所
農業実習管理準備室
作業準備室
作業準備室
農業実習管理準備室
農具室
農業実験実習室
町道
道路
6.000
4.080
1.00
0.50
1.00
1.00
8.80
西那須